

「風流踊」のユネスコ無形文化遺産に登録決定について

11月30日に開催された、ユネスコの第17回政府間委員会において、「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されることが決定しました。

「風流踊」は祭礼や年中行事などの機会に地域の人々が世代を超えて参加し、様々な時代背景の中で、生活や風土との関わりにおいて、人々の情熱によって生み出され、今日まで伝承されてきた貴重な文化遺産であり、地域の活力の源としても大きな役割を果たしています。

しかしながら近年、担い手の減少や高齢化、新型コロナウイルス感染症の影響によって保存継承が困難となり、大きな課題となっています。

今回のユネスコ無形文化遺産登録を励みとして、全国各地の保護団体や行政が協力し、保存継承に向けた課題の改善や、未来を担う子ども達への普及啓発など、更なる取組の推進に努めてまいります。

全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会

会長 白川正樹